



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区妻町2番8号(DC会館)
鉄 電 千葉2935・2939番
公 衆 043(222)7207/FAX.043(224)7197
ホームページ http://www.doro-chiba.org/
Eメール doro-chiba@www.doro-chiba.org

2001.11.7 No. 5398

貨物 年末手当低額回答打破!

要求提出 — 貨物3.7ヵ月、東日本3.5ヵ月

動労総連合は、10月26日、30日にJR貨物及び東日本に、それぞ
れ年末手当の要求書を提出した。
とくに貨物会社はこの間、経営の破たんを口実として徹底した賃
金抑制攻撃を強行しつづけている。年末手当でもこの間超低額回答
がつづき(昨年末が1・72ヵ月、今夏が1・5ヵ月)、日貨労の裏
切り妥結によってそれが貨物で働く仲間たちに強制されている。
われわれは、分割・民営化政策の破産の結末を未だに労働者に転
嫁しつづけるやり方を断じて許すことはできない。

「クリーンアップ作戦」の破廉恥

日貨労は「JR貨物改革推進委員会」なる組織をつくり、一層の全
面屈服を深めようとしている。彼らはこのなかで、「状況としては
国鉄末期と同じ」「JR貨物には次はない」「雇用不安が現実化しつ
つある」「闇雲に反対を言っていたのでは国鉄改革当時の国労の二
の舞に成りかねない」などと悲鳴をあげて現場の怒りの声を抑えつ
け、「貨物労として何をやるか」「現場は何をすべきか」と問いかけ
ている。だが、驚くべきことにそこに書かれている唯一の「方針」は、
「9月からクリーンアップ作戦を全組合員参加で行なう」ということ
なのだ。「クリーンアップ作戦」とは何かという、彼らの説明によ
れば、勤務時間外にコンテナや機関車の掃除をサービスマン労働者や
て、イメージアップを図り、社員のモラルの向上を図るということ
である。漫画としか言いようがないが、これが今、日貨労がやるう
として唯一の方針なのだ。これは、国鉄分割・民営化攻撃時の
「働こう運動」の漫画的な再現に他ならない。

一層奴隷的屈服を深める日貨労

だがこれは、貨物会社が現在策定中の「ニューチャレンジ21」の
なかで「希望退職、転籍離籍」等を検討している状況のなかで、こう
した攻撃を全面的に容認してその先兵となり、また再び、動労千葉
や国労の組合員、そして日貨労のなかでも革マル方針に従わない者
を犠牲にして自分だけが生き残ろうという日貨労・革マルの意志の
あらわれでもある。

しかし、「現在貨物会社が置かれた状況は国鉄末期と同じ」などと
いうのであれば、何よりも真っ先にその責任が問われるのは日貨労
自身に他ならない。自ら主張していた「国鉄改革の理想」なるものは
一体どこにいったのか。分割・民営化すればすべて良くなるといっ
て膨大な首切り手先になった自らの責任はどうとらえるのか。まさ
に破廉恥極まりない連中だ。

より一層奴隷の道に転落する日貨労の裏切りを粉碎し、怒りの声
を結集して闘おう。年末手当超低額回答を打破しよう。

戦争と大失業に反撃を！ 全力で結集を

11.11 全国労働者総決起集会

★ 闘う労働組合の全国ネットワークをつくらう!

- ◎ 全労働者の団結で、大失業攻撃をうち砕こう!
- ◎ 全労働者の団結で、4党合意を粉碎し、国鉄1047名闘争に勝利しよう!
- ◎ 全労働者の団結で、アメリカの報復戦争と
日本の参戦を阻止し、新たな国際反戦闘争をつくりだそう!

11月11日(日) / 正午 / 日比谷野外音楽堂

《指定列車》 千葉駅7番線 10:35 (二陣もあり)

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!